

授業科目名	卒業研究	担当教員	看護学科全教員 科目責任者：教授 津本優子		
開講年次及び学期	4年 通年	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2

### 授業の目的（概要）

3年次の「看護研究方法論」で習得した知識と技術を活用して、担当教員の指導・助言を受けながら、主体的に研究に取り組む。自己の看護への関心や探究心を研究への動機として、十分な文献検討を経て研究テーマと研究目的を設定する。目的を達成するための具体的で、且つ無理のない実現可能な研究計画を立てて実行する。成果を発表し、集録集にまとめる。

この看護研究のプロセスを主体的に辿る経験をととして、科学的・論理的思考力を養うとともに、看護専門職として生涯にわたって看護を探究していく研究の態度や創造力、自律的態度を培う。

### 学修成果（到達目標）

1. 自己の研究動機に基づいて文献検討を行い、関心領域の知見を整理して、研究テーマを導出できる。
2. 研究の目的を明確に位置づけ、目的の解明のための具体的且つ論理的・一貫性のある研究計画を立案する。
3. 研究の実施に当たっては、「看護研究倫理指針」に基づいて適切に倫理的配慮を実行することができる。
4. 適切な方法を用いてデータの分析を行うことができる。
5. 目的・方法・結果・考察の形式で構成された、論理的・一貫性のある発表ができる。
6. 発表会での批判を吟味して、所定の書式を用いて論文形式の報告書(A4版：2枚)にまとめることができる。

### キーワード

看護研究、倫理審査、研究発表、論文作成

### 授業の進め方

小グループごとに担当教員の指導を受けながら、演習形式で進める。  
発表会は学会の口演方式で行う。

### 成績評価の方法（合否基準）

学修成果の達成状況から総合的に評価し、100点満点に換算する。60点以上を合格とする。

### 教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書

参考書

- 1) グレグ美鈴, 他著：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方（第2版）, 医歯薬出版, 2016
- 2) 石井京子他：ナースのための質問紙調査データ分析（第2版）, 医学書院, 2002

### オフィスアワー

津本優子(基礎看護学講座) 質問等随時 E-mail: tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp

### モデル・コア・カリキュラムとの関連

- A-2-1) 学修の在り方
- A-3-1) 課題対応能力
- A-8-1) 看護学における研究の必要性・意義
- A-9-1) 自己研鑽の必要性和方法
- A-9-2) 看護学の専門性の発展
- B-3-2)-(1) 倫理規範と実践
- G-1 看護研究における倫理
- G-2-1) 看護実践の探究
- G-2-2) 研究成果の活用の方法
- G-2-3) 研究活動の実践

授業計画

月	日	場所	内容	研究のプロセス	担当者
1	30	N12	第1回オリエンテーション ・研究テーマ・概要調査票配布	研究的関心の自問と整理	基礎看護学講座教員
2					
3	4		研究テーマ・概要の提出締切 ・正午までに事務室前BOXへ	研究テーマの焦点化	
4	2	第4実習室	第2回オリエンテーション (学年別オリエンテーション内プログラム) ・指導教員配属の提示		全教員
			指導教員との打合せ ・ゼミ・指導日程の調整 ・研究テーマ、キーワードの確認	研究テーマの絞込み ↓	
5				研究計画の立案 ↓	
6	3 17		⇒研究倫理申請 : 第1月曜日(6/3) 第3月曜日(6/17)	卒業研究倫理審査申請 ↓	
7	1 16 29		⇒研究倫理申請 : 第1月曜日(7/1) 第3火曜日(7/16) 第5月曜日(7/29)	卒業研究倫理審査承認 ↓	
8				調査対象への依頼 ↓	
9	2		⇒研究倫理申請 : 第1月曜日(9/2)	調査 ↓	
10	1	未定	第3回オリエンテーション ・発表会運営について ・原稿作成について	データ入力 ↓	
	21		プログラム用演題名提出締切 ・正午までに事務室前BOXへ	データ分析 ↓	
11	13		抄録原稿提出締切 ・正午までに事務室前BOXへ	結果のまとめと考察 ・研究テーマ再考 ↓	
	28	N11・N12	卒業研究発表会	演題登録 ↓	
12	4		集録原稿提出締切 ・正午までに事務室前BOXへ	抄録原稿作成 ↓	
				発表用パワーポイント作成 ↓	
				集録集原稿作成	

備考

- \* 主要な日程を目安に、研究プロセスを進める。
- \* 実習、国家試験の学習、就職試験、進学試験等、個々人の重要な課題と併行しながら進めなければならないため、時期によって集中すべき課題を見極め、頭を切り替えながら、時間を合理的に使って着実に取り組むこと。
- \* 年度初め、及び、節目節目に教員-学生間で日程を調整し、平均して週1コマ程度のゼミまたは個別指導の時間を設定して計画的に進めること。
- \* 人を対象とした研究を行う場合には、研究の実施に先立ち、看護学科卒業研究倫理審査を受けることを原則とする。